

NO.18

2010.1.25.発行

# ぬくもり



宇佐市 安心院町 鏝絵

## ●CONTENTS

新年を迎えて・・・2  
 医師紹介・・・3  
 日本医療機能評価機構認定・・・3  
 災害医療・・・4～5  
 胃胸部レントゲン検診車の新規導入 6  
 医事統計総括表・・・6  
 ボランティア紹介・・・7  
 リレーフォーライフ大分・・・7  
 外来担当医師一覧表・・・8

### 基本理念

地域医療への貢献  
「肌のぬくもりある医療」の実践



### 基本方針

- 一、 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
 TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307  
<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします

# 新年を迎えて



理事長  
徳光 克己

皆様明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

この一年を振り返りますと先ず第1に一昨年秋のリーマンショックに端を発する世界的な大不況はいまだに尾をひいておりデフレスパイラルを思わせる状況と云ってもよいで

しょう。金融の暴走をいかにコントロール出来るかが今後世界的な課題となるでしょう。

第2は世界的な新型インフルエンザの大流行であります。幸い今回は弱毒性であり全国的に見ても重症化例は予想をはるかに下廻りましたが国によっては多くの死者を出しました。これは我が国の国民皆保険制度（最近ではほころびが目立つが）の勝利であったと思います。為政者はこのことを肝に銘じて欲しいと思います。

しかしまだ油断は禁物です。かのスペイン風邪も第2波の方がはるかに多くの死者を出していますから。それと強毒性の鳥インフルエンザがやってきたらこの程度ではすまないでしょう。

人類とウィルスとの斗いは今後も続くと思います。それに今回特筆すべきは一時期（第47週）、大分県が77で全国



院長  
中島 仁典

新年明けましておめでとうございます。

さて、当院では、昨年4月の病院機能評価受審、7月からのDPC対象病院への参加、さらに、新型インフルエンザの流行も重なって、本当に大変な1年でした。しかし、職員の皆さんの献身的な協力で、これらの課題を無事ク

リアすることが出来ました。本当に有難うございました。

ただ、昨年の重点項目として掲げました「救急・災害医療体制の充実による地域医療への貢献」につきましては、マンパワーの不足から、特に循環器疾患の救急医療体制がまだまだ不十分で、地域住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしているのが現状です。来年度以降を考えての循環器科医師の確保（3人～4人体制）につきましては、現在も努力を続けていますが地方の医師不足は深刻で、まだまだ先行き不透明という状況です。

それでも、昨年12月から、小倉記念病院院長の延吉正清先生のご理解を頂きまして、毎週木曜日の午後に、小倉記念病院循環器科副部長の近藤克洋先生に心カテを手伝っていただけるようになりました。今後、さらに積極的に循

一となり夏に県北では122という日本一の発症率を示したことでしょう。何故だったのでしょうか。検証が必要です。

さて去年は政権交代がありました。この10年間で7.7%の診療報酬が下げられました。今回、人の命を守る予算と大見栄をきっている民主党の診療報酬の改定率はネット0.19%増、これに要する国庫負担は160億円、これで地域医療の崩壊をくいとする等と見栄を切られては笑止千万。医療現場は今大きく失望しております。

医師会病院では医師不足の中、宇佐高田地域の救急医療を一生懸命頑張っております。

先日広報うさ、1月5日、No.112で医師会病院副院長柏木孝仁先生が「救急医療について」と題して私見を述べられております。救急現場の当事者の声としてもう一度市民の皆様に読み直して頂きたいと思います。

12月25日成人病検診センターに大型の「胃胸部併用X線レントゲン検診車」の引渡し式が宇佐、高田両市長のご出席を頂き行われました。当検診センターは来年で開設20周年を迎え名実共に両市、市民の健康管理センターとして益々その役目を果せると自負しております。どうか市民の皆様に利用して頂ければと願っております。

とりとめのない話になりましたが、これで新年のご挨拶と致します。

環器科医師の増員を図っていく予定です。

私は、医師会病院の基本理念である「救急医療の充実による地域医療への貢献」、特に、循環器疾患・外科的疾患に対する救急医療体制の充実こそが、地域の皆さんが最も切実に当院に要望されていることであると確信しています。

十分なマンパワーの確保が困難な地域における救急医療の充実のためには、職員が働きやすい職場環境を作っていくこと、そしてなによりも、職員間の連携の強化すなわちチーム医療の実践が最も重要であると確信しています。昭和56年の開院以来のモットーであり、もうひとつの基本理念である「肌のぬくもりある医療」の実践も常に心がけています。

私は今後もこれらの基本理念を実現していくための病院運営を心がけ、職員全員と力を合わせて努力をしてみたいです。

今年も医師会病院をよろしく願い申し上げます。

最後に、毎年同じ文章で締めくくっていますが、宇佐高田医師会病院と一緒に頑張ってくださいる医師、看護師の皆さん、いらっしやいましたら是非ご連絡下さい。いつでも大歓迎です。

平成22年1月1日

# 循環器科 医師紹介



循環器科 医師  
近藤 克洋



豊後高田市草地出身の近藤克洋です。

高田中学・高田高校・大分医科大学を卒業後は心臓・血管の治療を中心に勉強してきました。現在は社会保険小倉記念病院循環器科で研鑽の日々です。

毎週木曜日にカテーテル検査・治療のお手伝いをさせていただいています。

質の高い医療を皆様に受けていただけるように努めさせていただきます。

## 日本医療機能評価機構の 認定病院になりました



事務長  
熊谷 嘉典

平成21年10月2日付けで、財団法人日本医療機能評価機構が定める認定基準（審査体制区分2 Ver.5.0）を達成し、「日本医療機能評価機構認定病院」として認定されました。

「日本医療機能評価」は病院のさまざまな設備、医療環境、医療、看護の活動状況が厳しく審査され、患者さんのニーズを踏まえつつ、効率的かつ適切な医療が提供されているかの判定を受けるものです。

私たちはその評価内容を真摯に受け止め、地域の皆様に良質な医療を提供し、安心・信頼してご



利用いただける病院であり続けるよう、今後もさらなる医療の質の向上と基本理念である「肌のぬくもりある医療」の実践に職員一同、日々努力して参ります。

# 災 害 医 療

## 平成21年度大分県高速自動車道等総合防災訓練

平成21年9月25日（金）10時より大分農業文化公園駐車場内にて「平成21年度大分県高速自動車道等総合防災訓練」が大分県高速自動車道等消防連絡協議会・大分県高速自動車道等危険物運搬車両等事故防止対策協議会主催のもと実施され、当院DMAT 6名（柏木医師 古賀医師 植田看護師 吉武看護師 諫山看護師 吉田調整員）が参加しました。

### ●訓練想定

平成21年9月25日、午前10時頃、宇佐別府道路下り線、院内料金所のETCゲートを通過しようとした普通乗用車が、ETCカードの挿入が不十分で、ゲートが開かず、急停車する。後続のタンクローリーが

それに気づき急停車するが、間に合わず、普通乗用車に衝突、さらに後続の大型バスが急停車するも、後ろを走行していた大型トラックが追突して、大型バスの運転手及び乗客に多数の負傷者が発生した。

尚、普通乗用車の運転手はハンドルと座席に挟まれ脱出できない状態である。タンクローリーの運転手は自力で車外に脱出し負傷なし。

事故発生後、院内料金所の職員より「普通車とタンクローリー、大型バスと大型トラックの多重衝突で、負傷者多数。またタンクローリーより液体が流出している。」との119番、大宰府管理センターへ通報があった。

また、宇佐別府道路下り香下トンネル院内口付近にて事故渋滞中の車両に後続車両が追突。



今回の訓練の反省会を平成21年10月2日（金）16時より第一会議室にて当院DMATメンバー、救急災害対策委員会実務委員、宇佐市消防本部救急隊、長洲救急隊の方々で行いました。

### ●主な反省点

- ・ 誰に報告すればよいか分からなく、リーダーに対する報告が足りなかった。
- ・ 看護師の中にもリーダーを決めておく必要があった。
- ・ 全体を把握する位置にいるメンバーが必要であった。
- ・ 救護所の位置の確認等、スムーズに流れる手順ではなかった。
- ・ 緑の人（軽傷）の横に黒の人（死亡）が運ばれていたが、緑の人に精神的ショックを与えないためにも、そのあたりの配慮も考えた方がよい。

平成22年1月現在、宇佐高田医師会病院DMATは10名（医師2名、看護師7名、業務調整員1名）が大分DMATに登録しており、DMAT出動要請に備えています。





# 胃胸部レントゲン 検診車の新規導入

宇佐高田地域成人病検診センターは平成2年5月に、医師会病院に隣接して、地域の検診センターとして設立致しました。以来、学童検診、事業所健診、人間ドック特定健診・特定保健指導における地域住民健診等、地域公共のための健康増進事業を実施してまいりました。

しかし、近年健康意識も高まり、健診ニーズも多様化し、健診受診率も年々増加する中であって、検診センターの施設内だけでは対応に苦慮し、健診者の様々な要望に応じることも困難な状況になりました。

そこで昨年12月25日に、広く地域住民・職域の方により一層の健康増進・予防サービスを提供するために、宇佐・豊後高田両市並びに財団法人JKA（競輪補助）より補助をうけ、当センターとして初めての検診車「胃胸部併用X線テレビ検診車」の導入を致しました。肺がん検診・胃がん検診ができる最新機器搭載のレントゲン検診車です。

今後、宇佐高田地域の健診の一層の充実と住民の健康増進に大いに役立てていきたいと思っ



納車記念セレモニーにおけるテープカットの様子

ておりますので、今後とも検診センターへのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

宇佐高田地域成人病検診センター  
次長 釘宮 英樹

## ■医事統計総括表（8月～11月）

	8月		9月		10月		11月		
	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	
外来患者延べ人数(人)	1,513	1,439	1,576	1,417	1,610	1,432	1,498	1,324	
1日平均入院患者数(人)	79.3	63.8	82.6	69.8	72.6	80.3	88.4	77.6	
科別内訳	循環器	11.1	13.0	8.4	13.1	10.1	14.6	18.9	11.6
	消化器	25.2	13.2	22.3	16.2	18.4	17.2	19.2	18.7
	外科	24.0	21.0	27.8	22.6	24.3	21.0	29.7	25.1
	呼吸器	19.1	16.6	24.1	17.9	19.9	27.4	20.6	22.2
平均在院日数(日)	18.1	13.6	16.5	15.6	13.4	16.9	17.6	16.5	
病床利用率(%)	72.1	58.0	75.1	63.5	66.0	73.0	80.4	70.5	
紹介患者数(人)	337	334	334	302	308	365	326	356	
患者紹介率(%)	89.0	95.1	92.7	98.5	91.9	98.5	85.5	82.3	
救急車搬入件数(件)	59	78	59	62	77	61	81	77	

# ボランティア紹介

毎年11月の上旬に糖尿病予防週間があります。昨年は、11月10日～11月16日の間で行われました。

当院では、この間（11月10日～13日の4日間）に外来患者さま、その付き添いさんに対して食事相談を1階ロビーにて実施しました。

今回初めての試みでしたが、社団法人大分県栄養士会より管理栄養士4名（岩男壽子さん、高木怜子さん、長岡加寿子さん、上田由美さん）にボランティアとして来て頂きました。そのお蔭で、当院の管理栄養士と協力し31名の食事相談を受けることができました。

## 相談者の声

- 食事のことを話し、相談できる場があって良かった。今度はいつするのですか？
- 展示パネルの塩分・糖分・脂肪の量を見て、今まではあまり考えて食事をしていなかったが今後は食事の内容の見直しが必要と感じた。

## ボランティアの感想

患者さんだけでなく、患者さん以外の付き添いの方の相談が多く感じました。その方々の病気の予防に役立てて頂ければと思います。

皆さんと接する機会が出来て大変うれしく思います。またこのような機会があればご協力させて頂ければと思います。



## リレーフォーライフ大分に参加しました

昨年10月17・18日、日本文理大学グラウンドにて行われたリレーフォーライフ大分に、当院も柏木副院長、柳田総師長と共にチームを結成し参加しました。

リレーフォーライフとは、20年以上前にアメリカで始まったがん征圧を目指し24時間リレーウォークでたすきを繋ぐイベントです。日本では2006年に、大分では2008年に始まり、2回目となった募金参加のルミナリエ（写真）では患者様本人やご家族をお誘いし、メッセージを書いていただきました。

参加チームの中にはがん患者さんのチームもあったのですが、表情がとても明るく元気がある方達だっ

たのが印象的でした。またルミナリエ1つ1つに書かれたメッセージでも、がんと闘いながらも前向きな患者さん自身の思いを知り、ご家族の支えは言うまでもありませんが、「この様な取り組みが患者さん達を元気にしているんだ。」と思うと、このイベントに参加できた事を嬉しく感じました。

このリレーフォーライフは今年も開かれます。誰でも参加できます。一緒に歩きませんか？

緩和ケア委員 渡邊 里子



# 外来担当医師一覧表

平成22年1月1日現在

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	消 化 器	小野 英樹	中島 仁典	相馬 渉	中島 仁典	小野 英樹	中島 仁典
	内 視 鏡	相馬 渉	小野 英樹	小野 英樹	相馬 渉	相馬 渉	(再 来)
	循 環 器	副島 和典	陣林 伯男	副島 和典	陣林 伯男 ペースメーカー	陣林 伯男	—
	外 科	高松 祐治	柏木 孝仁	村上 光彦	古賀 裕	柏木 孝仁	—
	呼 吸 器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午 後	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	血 液	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏 名	専 門 領 域
消化器科 中島 仁典	消化器 肝臓病 内科一般
小野 英樹	消化器 肝臓病 内科一般
相馬 渉	消化器 肝臓病 内科一般
循環器科 副島 和典	循環器 内科一般
陣林 伯男	循環器科一般

氏 名	専 門 領 域
外科 柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
高松 祐治	消化器外科 甲状腺外科 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
古賀 裕	消化器外科 外科一般
呼吸器科 三重野 斉	呼吸器科一般

## ●外来受付時間

午前 8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)  
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。  
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

## ●診療時間

午前 9:00~12:00 / 午後 2:00~ 5:00

## ●休日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始 (12/30~1/3)

## ●ご案内図



平成21年11月1日付けで  
 社会保険庁より  
 厚生年金事業における  
 功績を認められ  
 表彰を受けました。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
 昨年12月に表紙の鏝絵の写真を撮りに安心院町の永田さん宅を訪問させて頂きました。鏝絵は左官さんが泊り込みで仕事をし、「長年(数年間)お世話になりました」というお礼のようなものとして、余った漆喰で残したものだそうです。人情深いお話しに感激しました。  
 永田さん宅には注意して見ると小さなぬくもりがいたり、富士山に傘がかかっていたりとユニークな作品も残っていました。表紙上部の虎は、永田さんが平成19年に作成し、大保さん宅の新築祝いに贈った友情の鏝絵です。皆さんも一度安心院町の鏝絵巡りの散策に行かれてみてはいかがでしょうか？  
 本年も、広報誌ぬくもりでは地域の情報を取り上げていきます。ご愛読のほどよろしくお願いいたします。  
 広報委員

ぬくもり Vol.18 2010年1月25日発行

## 宇佐高田医師会病院

〒872-0102 宇佐市大字南宇佐635  
 TEL 0978-37-2300 FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>